

基金へのご協力のお願い

平素は本校の学校教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、神戸大学附属学校部では、教育研究基金を募集することになりました。そこで、附属小学校では、仲間と学び、協働する創造的な学習空間を生み出す「メディアスペースの充実」を考えております。詳しくは、以下のパンフレットをご覧ください。

子どもたちの学びを豊かにするため、皆様のあたたかいご寄付を賜れば幸いです。何卒よろしくお願い致します。

神戸大学附属小学校

グローバルキャリア人の育成

「自律」

自ら進んで生活を築いていく子ども

「創造」

豊かな感性と探求的な思考力を働かせて、文化を創造していく子ども

「尊重」

国際的な視野と広い心を持ち、お互いを尊重し合う子ども

メディアスペースの充実

メディアスペースとは

本を読んだり、調べ物をしたりなどの図書室機能にとどまらず、対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応できる活動空間



仲間と学び・協働する、創造的な活動空間

ただ個人で学習する空間ではなく、

- 【出会う】 子どもたちが出会い、アイデアに出会う
- 【話す】 アイデアを仲間と話し合い、新しいアイデアに結びつく
- 【深める】 生まれたアイデアを、個人リサーチや仲間との議論で深める
- 【共有する】 深まったアイデアを仲間と共有し、自信・成長につなげる



4. 共有する

深まったアイデアを実践(プレゼンテーション)することで、成果を仲間と共有し、自信につなげ、共に成長します。

3. 深める

出会いや交流で生まれたアイデアを個人のリサーチや仲間との議論により深め、まとめます。



1. 出会う

子どもたちが集まり、つながることで、新しい情報に触れアイデアを生み出します。



2. 話す

アイデアは個人で温めることも重要ですが仲間との話し合い意見交換することも大事です。お互いの考えや理解の存在に気づき、新しいアイデアに結びつけます。



メディアスペースの充実に向けて

2016年に校舎改修を行いました。メディアスペースは、予算不足のため十分な施設が整わず、完成途中のままの運営が続いています。

そのため、購入できなかったカウンターは、使用しなくなった講堂の演台などで代用し、机やイスも他の教室で使用されなくなった廃棄手前の物を使用しています。

また、調べ学習で使用する図鑑類は、更新が間に合っておらず、20年以上前に発行されたものを置いています。読み物の本についても、書架には本を置くスペースがまだまだあります。子どもたちに、もっと喜びや希望を与えてくれる本を満たしてあげたいと考えています。

子どもたちが主体的に学び続ける場所を作るために、どうか皆様の温かいご支援をお願いできませんでしょうか？よろしくお願ひ致します。



予算不足のため、貸し出しカウンターを購入することができずに、昔使用していた演台などを利用しています。

子どもの背丈に合っていないため、非常に不便です。

机とイスも新規購入できずに、古い机とイスを使用し続けています。



重いイスを使用しているため、イスを動かすと下の階の保健室に大きな音が響いて困っています。



図鑑等の更新ができておらず、20年前に出版されたものを置いています。最新の情報を調べることができません。



読み物のコーナーの書架は、空きが目立ちます。蔵書の最低冊数はクリアしているものの、まだ十分ではありません。

いただいた資金の用途について

・貸出カウンターの設置	2,399,000円
・新規の机・イスの購入	1,471,000円
・書籍の充実	2,000,000円
・その他、運営に関わる費用	330,000円

合計 6,200,000 円